

令和 6 年度

事業報告書

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

I. 法人運営の基盤強化

公益性と非営利性をもつ社会福祉法人として、また住民参加の地域福祉を推進する社会福祉協議会として、地域住民や関係者のみなさまの理解と信頼を得られる法人運営を行うことは非常に重要な課題です。

そのため、評議員会・理事会を中心とした社協組織全体でのチェック体制の強化に努め、財務状況や事業内容の積極的な公表等とあわせて、事業運営の透明性の確保を推進しました。

また、社協会員の募集による地域福祉事業の自主財源確保に努めるとともに、職員の人材確保と資質向上、地域福祉の専門職であるコミュニティソーシャルワーカーの職員配置を推進し、法人運営及び事業実施の体制整備に努めました。

1. 法人運営事業

- (1) 理事会、評議員会を開催し、社会福祉法人として適正な組織及び事業の運営を図った。

ア. 理事会の開催

第1回	令和6年5月20日（月）
議案第1号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款の一部改正について
議案第2号	令和5年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第3号	令和5年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出決算について （監査報告）
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
議案第5号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員の欠員に伴う選任候補者の推薦について
議案第6号	令和6年度第1回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の開催日時及び内容等について
議案第7号	大口社協居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について
報告第1号	令和5年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会流用について
第2回	令和6年6月4日（木）
議案第8号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会会長の選定について
報告第2号	生活応援サポート「のってこカー」事業（案）について

第3回	令和6年7月3日（木）
議案第9号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事候補者の選任について （書面決議）
第4回	令和6年7月11日（木）
議案第10号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常務理事の選任（案）について （書面会議）
第5回	令和6年10月24日（木）
議案第11号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第12号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会非常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第13号	「令和6年度大口町表彰式」に係る被表彰者選考について
第6回	令和7年3月18日（火）
議案第14号	令和6年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出補正予算（第1号）（案）について
議案第15号	令和7年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画（案）について
議案第16号	令和7年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出予算（案）について
議案第17号	令和6年度第3回社会福祉法人大口町社会福祉協議会評議員会の日時及び場所等について
議案第18号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会経理規程の一部改正について
議案第19号	大口社協デイサービスセンター通所介護事業運営規程の一部改正について
議案第20号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービス事業運営規程の一部改正について
議案第21号	大口社協デイサービスセンター介護予防通所型サービスミニデイ事業運営規程の一部改正について
議案第22号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第23号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会非常勤職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について
議案第24号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会福祉サービスに関する苦情解決に係る第三者委員の選任について

イ．評議員会の開催

第1回	令和6年6月4日（火）
議案第1号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会定款の一部改正について
議案第2号	令和5年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業報告について
議案第3号	令和5年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出決算について （監査報告）
議案第4号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任について

第2回	令和6年7月3日
議案第5号	社会福祉法人大口町社会福祉協議会理事の選任（案）について
第3回	令和7年3月27日
議案第6号	令和6年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出補正予算（第1号）（案）について
議案第7号	令和7年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会事業計画（案）について
議案第8号	令和7年度社会福祉法人大口町社会福祉協議会収入支出予算（案）について

（2）研修会の開催

「令和6年度大口町社会福祉協議会合同研修会」

対象 社会福祉協議会理事・監事・評議員・民生委員・児童委員・第三者委員

講師 愛知県社会福祉協議会運営適正委員会 事務長 石黒 学氏

開催日	場所	内 容	参加数
令和7年 1月17日	健康文化センター 1階 多目的室	「社協が災害ボランティアセンターを運営する意義」	53名

（3）会員の確保と拡大を推進し、事業実施に必要な自主財源増収に努めた。

*会員募集強化月間 7月～9月

*会費金額（年額） 一般会員 500円 賛助会員 1口 1,000円
法人会員 1口 3,000円

会員募集加入状況一覧表 *上段は令和6年度・下段は令和5年度

区 分	加 入 数	金 額	増 減 額	加入率 (※)
一般・賛助	4,268 件	2,161,000 円	▲34,200 円	44%
	4,290 件	2,195,200 円		45%
法 人	109 件	720,000 円	8,600 円	/
	105 件	711,400 円		
合 計		2,881,000 円	▲25,600 円	
		2,906,600 円		

(※) 加入率：各年度4月1日時点の大口町行政区別集計世帯数から寮世帯を除いた世帯数に対する会員加入数から算出

（4）財務諸表、現況報告書等を公表し、運営の透明性を確保した。

（5）適切な人事労務管理を行い、円滑に事業を推進できる職員体制を整備した。

(6) 外部研修等を活用し、職員（コミュニティーソーシャルワーカー）の資質向上を図った。

(7) 行政や関係機関より受任する役員・委員等として、各種会議・研修等に出席し、連携を図った。

各種会議

名称	出席件数
大口町高齢者サービス調整会議	2回
大口町障がい者福祉調整会議	2回
大口町子ども・子育て会議	5回
愛知県社会福祉協議会関係	2回
共同募金会関係	4回

(8) 第三者委員を設置し、福祉サービスの苦情解決制度の運用をした。

第三者委員への苦情報告件数 4件

(9) 個人情報保護規程に基づき、個人情報保護の遵守を徹底した。

(10) 事業継続計画（BCP）の中で本会介護保険サービス利用者の緊急連絡方法の確認を行った。

2. 機関紙発行事業

(1) 広報「おおぐち社協だより」を年4回発行し、町広報紙と共に町内全戸配布により、社協情報や福祉関連情報を広く発信した。

「おおぐち社協だより」

- ・発行部数 9,350部
- ・発行月 4月・7月・10月・1月（年4回）
- ・配布対象 町内世帯、企業・法人、関係機関等

(2) 公式ホームページを更新し、「見やすい社協」をこころがけ、事業の利用及び参加・協力を働きかけた。また、新たに公式 Instagram を開設し、多様な年代に本会の取り組みをPRするために、時代に即したソーシャルメディアを活用して情報を発信した。

Ⅱ. 「支え合いの地域づくり」の推進

『大口町総合計画』において、地域福祉は健康で安心な暮らしの基本施策のひとつとして位置づけられており、福祉教育の充実、社会福祉協議会の強化、担い手の発掘・育成、ふれあいサロン等の小地域福祉活動の促進、地域住民による見守りや生活を支える活動の推進等があげられています。

その取り組み目標は、本会及びその事業と密接に関わっており、地域住民やボランティア、民生委員児童委員等の参加を得ながら、「支え合いの地域づくり」に向け、それぞれの地区の地域性に合わせて取り組みを推進しました。

1. ボランティアセンター事業

- (1) 町内児童センター等において、ボランティアサークルが「夏休み出前講座」を行い、児童クラブ・児童センターを利用する児童等を対象に、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。

開催日	団 体	場 所	内 容	参加数
7月27日	手話サークル コスモス	西児童センター	あいさつじゃんけん、 伝言ゲーム、身振り手 振りで伝えよう、自分 の名前を覚えよう。	14名
8月7日	災害救援 ボランティア	南小体育館	うるうるパック作成 防災クイズ、携帯トイ レ体験	28名
8月8日	傾聴ボランティア だんぼ	南小体育館	マジックショー マジックを覚えよう	22名
8月16日	高齢者疑似体験 うさぎとかめ	北小学校内	高齢者疑似の体験、豆 つかみ、色塗り、衣服 の着脱	14名
8月24日	健康づくり ボランティア 楽舞遊	西児童センター	太極拳、太極扇、太極 剣、古武術遊び等	9名
合 計				87名

- (2) 各種養成講座や研修を開催し、ボランティアの育成やグループの補強及び支援を図った。

ア. 精神障がい者を支える講習会（全1回）

講師 渡邊 久佳 氏（地域活動支援センター希楽里 管理者）

成果 精神障がいをお持ちの方に対する、接し方であったり、フリースペース活動の様子を伝えることができた。

開催日	場所	内容	参加数
7月16日	大口町健康文化センター1階 多目的室	・講演会 ・ボランティア活動について紹介	13名

イ. レクリエーションボランティア養成講座（全3回）

講師 中野 金弘 氏（舞台芸術レクリエーション指導者）

成果 既存団体の活動が下火になっている中、本講座を実施することで、ボランティア活動の活性化につなげることができた。

開催日	場所	内容	参加数
7月23日	・大口町生きがい活動支援センター ・社協デイサービス (8月20日のみ)	・オリエンテーション ・講義	6名
7月30日		・グループでレクリエーション演習	5名
8月20日		・レクリエーションを実践してみよう ・修了式	7名

ウ. 運転ボランティア養成講座（全1回）

講師 名鉄自動車専門学校 講師

成果 社協事業等へ高齢者を送迎する運転ボランティアを育成し、安心・安全な運転の実践に必要な支援を行うことができた。

開催日	場所	内容	参加数
10月24日	名鉄自動車専門学校	・運転ボランティアについての説明 ・安全運転講習（実技）	1名

エ. 手話ボランティア養成講座～手話を始めてみませんか～（全6回）

講師 大口町手話サークルコスモス 会員

成果 本講座を通じて、手話グループの活性化につなげることができた。

開催日	場所	内容	参加数
10月24日	大口町 健康文化センター4階 和室	・じゃんけんをしよう（あいさつ） ・6つのコミュニケーション方法	7名
10月31日	大口町 健康文化センター4階 ふれあい3	・耳の仕組み、自己紹介、 名前・住所 ・数の表現を覚えましょう	7名
11月14日		・DVD視聴（私たちの家族） ・家族、誕生日、月日	4名
11月21日		・数3ケタの表し方 ・得意、好きなものの表し方 ・時間の表し方	4名
11月28日		・地元の地名、東海三県 ・四季、県名	4名
12月12日		・伝言ゲーム、自己紹介	3名

- (3) 大口町ふれあいまつりにおいて「ふくしわくわくランド」を開催し、ボランティア団体とともに福祉のPRと啓発をすすめた。
- (4) ボランティアセンター運営委員会、ボランティア連絡協議会合同研修は内容見直しを実施した。
- (5) 「社協だより」に編集ボランティアサークルによる「ボランティア情報局」を掲載し、情報を発信した。
- (6) 音訳ボランティアサークルによるCDを利用した「声の広報」サービス、バリアフリー化支援ソフトを使用したホームページ等を通して、視覚障がい者等への情報提供支援を行った。（再掲）
- (7) 手話による聴覚障がい者等への情報提供支援を行った。
- (8) 点訳ボランティアサークルによる点字投票制度の協力を行った。

(9) **ボランティア活動育成費の助成実績**

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

助成団体	助成金額
15 団体	211,118 円
17 団体	254,001 円

- (10) ボランティア連絡協議会定例会を年6回開催、情報の発信とボランティア相互

の交流に基づいたテーマ別研修を年6回開催し活動を支援した。

ア. 令和6年度テーマ「ボランティアの絆」に関する研修活動の支援

開催日	講師	内容
5月24日		・令和5年度西尾張ブロックボランティアフェスティバルDVD鑑賞
7月26日	支援ボランティアなすび〜ず	・なすび〜ずの成り立ち ・活動について
9月27日	高齢者疑似体験うさぎとかめ	・うさぎとかめの成り立ち ・装具体験
11月22日	音訳ボランティアたんぽぽ	・音訳ボランティアたんぽぽの成り立ち ・活動について
1月24日	リトルベアーズ	・リトルベアーズの成り立ち ・活動について
3月21日	大口町社会福祉協議会	・災害ボランティアセンターについて

イ. ボランティア連絡協議会総会

ボランティア連絡協議会総会については2年に1度の実施のため、今年度は実施しなかった。

(11) ボランティア保険加入の事務手続きを行った。

ア. ボランティア登録者状況（ボランティア活動保険加入者数）

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

種別	団体数	人数	男性	女性
グループ	32	382名	196名	186名
	30	376名	185名	191名
個人		10名	8名	2名
		5名	4名	1名
合計		392名	202名	190名
		381名	189名	192名
増減人員	2	11名	13名	△2名

イ. ボランティア保険の対象事故件数 0件

(12) 町内企業と連携を図り協働事業を行った。

ア. トヨタ紡織㈱

大口町ふれあいまつり ふくしわくわくランドにおいて、車いす掃除のボランティア活動を支援した。

(13) ボランティア活動やボランティア派遣に関する相談に応じた。

相談及び派遣件数

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

相談件数	派遣件数
17件	5件
17件	5件

(14) 他市町域のボランティア・社協と共催して、西尾張ブロックボランティアフェスティバルを開催した。

実施日	場所	内容	参加数
1月16日	アデリア総合体育文化センター	「普段の活動のつながりを災害時に生かすには」をテーマに、西尾張ブロック14市町村のボランティア団体・社会福祉協議会と共催し、能登半島地震派遣職員の活動報告や講演会を実施した。	212名 (全体)

(15) ボランティアセンター運営委員会については内容の見直しを実施した。

2. 地域福祉活動事業（貸出事業、体験事業）

(1) 町民、行政区、学校、企業などを対象に、地域コミュニティ・日常生活用具・外出支援・福祉教育・団体活動支援を目的とした貸出サービスを行った。

- ・車イス ・松葉杖 ・福祉車両等 ・綿菓子機
- ・ポップコーン機 ・福祉教材(点字器・高齢者疑似体験セット等)
- ・障がい者スポーツ用具（ドッジビー・ボッチャ・ディスゲッター等）

貸出状況

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

種類	件数
車イス	109件
	104件
福祉車両等	10件
	32件

綿菓子機・ポップコーン機	12 件
	8 件
福祉教材・サロン用備品等 (点字器・高齢者疑似体験セット・ビデオ等)	10 件
	5 件
障がい者スポーツ用具 (ドッジビー・ボッチャ・ディスクッター等)	7 件
	4 件
合 計	148 件
	153 件

(2) 高齢者の移動手段確保の選択肢として電動カートの試乗体験を行い、町民がいつまでも住みなれた地域で、健康でいきいきとした生活が続けられるよう支援を行った。

- ・運転免許返納後等の「高齢者の足の確保の問題」は地域課題となっており、それを解決するひとつの選択肢として、電動カートを知る機会を提供してほしいとのニーズを受け、昨年度に引き続き事業を実施した。
- ・試乗や商品説明を希望する地域住民に対し、試乗体験を行い、電動カートを知り、利用を検討する機会を提供した。

電動カート試乗体験事業 利用実績 4 件

3. 高齢者福祉事業

(1) 民生委員児童委員と大口町水彩画クラブの協力で、85歳以上の単身高齢者・高齢者世帯を訪問し、おせち料理と絵手紙を届けた。

実施日 令和6年12月30日

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

項目	単身高齢者世帯	高齢者世帯	合計
配布数	85世帯	20世帯	105世帯
	71世帯	15世帯	86世帯

(2) 満88歳の米寿の方を対象に、ご自宅を訪問し、敬老のお祝い品と絵手紙、メッセージカードを贈呈した。

米寿お祝い品贈呈配布数 実施期間 令和6年4月～令和7年3月

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

配布月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配布数	9	5	8	4	5	5	6	9	2	16	17	9	95件
	8	11	4	5	7	7	6	7	7	14	9	8	93件

- (3) 99歳以上の方を対象に、敬老のお祝い品を贈呈した。

敬老お祝い品配布数 実施日 令和6年9月16日

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

配布数	9件
	14件

- (4) 認知症の人やその家族の支援として、認知症カフェ「オレンジカフェ・大口」の運営を支援した。

オレンジカフェ・大口 開催実績

開催日	内容	参加数	内スタッフ数
4月18日	60年前のあなた～新婚生活・子育て～	12名	5名
5月16日	五月の季節行事、座ってボウリング	18名	6名
6月20日	梅雨のおはなし、イントロクイズ	15名	7名
7月18日	学校	14名	7名
8月8日	旅行、都道府県クイズ	15名	7名
9月19日	歴民 西松氏による講話「伊勢湾台風」	20名	6名
10月17日	昭和懐メロ イントロクイズ	19名	7名
11月21日	母の味、嫁ぎ先の味	18名	7名
12月21日	イントロクイズ	20名	7名
1月16日	昭和家電	21名	5名
2月20日	イントロクイズ	18名	7名
3月13日	包括による健康に関するお話し	16名	7名
合 計		206名	78名

- (5) 孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」を支援した。

ふれあいサロンでの「地域ふれあい会食会」 開催状況

サロン名	件数	開催日
さつきヶ丘区元気会	2件	8月20日、2月18日
外坪区ほっこり	2件	12月26日、2月12日
上小口区散歩道	3件	10月15日、12月14日 2月15日
河北区陽だまり	1件	2月12日
萩島区ふれあいサロン会	1件	11月22日

大屋敷区にこにこ	1 件	1 1 月 2 0 日
余野区さろんボッチャ	1 件	3 月 2 5 日

4. 障がい児者福祉事業

- (1) 大口町障がい者スポーツ大会運営委員会の企画運営で「第38回大口町障がい者スポーツ大会」を開催し、当事者の方とその家族が、スポーツをとおし
て仲間や地域住民、ボランティア、民生委員児童委員等と交流をはかり、社
会参加の一助となる機会を提供することができた。

参 加 者 身体障害者福祉協会、心身障害児（者）親の会
協力団体 江南ロータリークラブ、民生委員・児童委員協議会、
ボランティア連絡協議会

開催日	場所	内容	参加数
6 月 1 日	中央公民館 集会室	ナイスシュート、車いす競争、 障害者スポーツを体験しよう、パン 食い競争、玉入れ、総踊り	1 0 2 名

- (2) 障がい者日帰り旅行事業を開催し、外出の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
1 2 月 2 日	静岡県浜松市	浜名湖グルメパークにて昼食。 うなぎパイファクトリー見学。	1 3 名

- (3) 「大口おもちゃ図書館さくら」の活動を支援した。
- (4) 精神障がい者等を対象とする「フリースペース れんげそう」の運営を支援
した。
- (5) 精神障がい者を支える講習会を開催し、「フリースペース れんげそう」の担
い手の育成を図った。
- (6) 障がい者スポーツ用具の貸出や、「障がい者スポーツ指導員」の派遣等を通
じて、障がい者スポーツ活動を支援した。

障がい者スポーツ用具の貸出、指導員の派遣実績

団体名	支援内容	件数
下小口区ちとせ会	スポーツ用具の貸出	1 件
	障害者スポーツ指導員派遣	
適応教室	スポーツ用具の貸出	1 件
	障害者スポーツ指導員派遣	
外坪老人クラブ	スポーツ用具の貸出	1 件
	障害者スポーツ指導員派遣	
河北区陽だまり	スポーツ用具の貸出	1 件
	障がい者スポーツ指導員派遣	
萩島ふれあい サロン会	スポーツ用具の貸出	1 件
	障害者スポーツ指導員派遣	
余野千歳会	スポーツ用具の貸出	3 6 件
心身障害児（者） ムーの会	スポーツ用具の貸出	1 1 件

5. 児童福祉事業

- (1) 障がいのある方やボランティア、福祉施設の協力により、町内小中学校で福祉教室（福祉実践教室・総合学習）を開催する計画について、学校側と日程調整を行いながら開催した。

福祉実践教室 参加人数・実施科目等

学校名	学年	科目数	参加人数	実施日	実施科目
大口中学校	1 年生	7	2 3 4 名	5 月 2 8 日 5 月 2 9 日 5 月 3 0 日	知的障がい 発達障がい理解
南小学校	3 年生	2	6 2 名	7 月 3 日	手話教室
	4 年生	1	2 8 名	6 月 2 7 日	点字教室
		1	2 6 名		視覚障がい者ガイドヘルプ
	5 年生	1	5 2 名	7 月 9 日	車いす体験
	6 年生	1	5 1 名	1 2 月 6 日	盲導犬教室
北小学校	4 年生	1	2 9 名	1 0 月 9 日	車いす体験
		1	3 1 名		手話教室
		1	2 8 名		高齢者疑似体験
		1	3 2 名		点字教室

西小学校	3 年生	3	7 9 名	1 2 月 5 日 1 2 月 6 日	手話教室
	4 年生	3	8 2 名	1 1 月 1 1 日 1 1 月 1 2 日 1 1 月 1 2 日	点字教室
		1	7 8 名	1 0 月 1 日	盲導犬教室
	5 年生	3	9 4 名	2 月 1 2 日 2 月 1 7 日 2 月 1 9 日	高齢者疑似体験
	6 年生	1	8 1 名	6 月 2 6 日	車いす体験
		1	8 3 名	1 0 月 1 1 日	防災教室
学校合計		2 9	延 1,070 名	延 1 9 日	

(2) 町内児童センター等において、ボランティアサークルが「夏休み出前講座」を行い、児童クラブ・児童センターを利用する児童等を対象に、活動の紹介や福祉教育の推進に努めた。(再掲)

(3) 子育て支援サークルに助成した。

(4) 「おもちゃ病院おおぐち」の活動を支援した。

(5) 福祉施設の協力により青少年等ボランティア福祉体験学習事業を実施した。

(6) 民生委員児童委員が行うドアノッキング事業に協力し、赤ちゃん訪問時のお祝品をプレゼントした。

赤ちゃん訪問プレゼント配布数 *上段は令和6年度・下段は令和5年度

項目	5ヶ月訪問	1歳訪問
配布数(品目)	149名(絵本)	171名(スプーンセット)
配布数(品目)	163名(絵本)	169名(スプーンセット)

(7) 「子育てサロンまむ*まむ」の活動を支援した。

(8) 親子や家族で参加できる福祉教室(施設見学ツアー)を企画し、家族で福祉について考える機会の提供や、福祉施設学習の支援を行った。

見学施設数 14か所(うち施設内見学3か所)

参加数 大人12名・子ども3名

開催日	種別	施設名称	見学方法
8月9日	高齢者	Kライン・ケアレジデンス大口	施設内見学・説明
	高齢者	老人保健施設 さくら荘	施設内見学・説明
	高齢者	大口ケアセンターあかり	施設内見学・説明
	高齢者	ゴールドエイジ大口	外観見学 資料により施設紹介
	高齢者	軽費老人ホーム一期一会荘	
	高齢者	じゃがいもグループホームしん・かむおん	
	高齢者	有料老人ホーム 太郎と花子	
	障害	グループホームふれあいの家	
	高齢者	みつばのシルバーハウスおおぐち	
	児童	放課後等デイサービスぽけっと	
	児童	発達支援室 ふきの塔・そらま芽	
	障害	ハートフル大口	
	高齢者	特別養護老人ホーム 御桜乃里	
	高齢者	大口社協デイサービスセンター 大口町生きがい活動支援センター	

(9) 孤食解消の取組みで、キッチンカーde 大口こども食堂を開催した。

開催日	場所	内容
8月6日(火)	健康文化センター 西側駐車場及び多目的室	夏休み期間中に開催し、カレーライスを提供。また宿題コーナーを設け、学習支援ボランティアにも協力いただいた。

6. 母子父子福祉事業

(1) ひとり親家庭日帰り旅行を開催し、親子のふれあいや親同士の交流の機会を提供した。

開催日	場所	内容	参加数
8月24日	ナガシマスパーランド (三重県)	アトラクションの体験等	3家族 12名

(2) 小学校、中学校、高等学校等入学のひとり親家庭を対象にお祝金を贈った。

ひとり親家庭お祝い金贈呈数

項目	お祝金	件数（５年度件数）	合計（５年度金額）
小学校	3,000 円	4 件（2 件）	12,000 円（6,000 円）
中学校	3,000 円	4 件（5 件）	12,000 円（15,000 円）
高校等	5,000 円	8 件（10 件）	40,000 円（50,000 円）
合 計		16 件（17 件）	64,000 円（71,000 円）

7. 福祉育成援助事業

- （１）フードバンク事業として、民間団体（民間フードバンクや災害用備蓄品活用支援団体等）との連携や、地域住民や企業等からの寄贈により食料品を確保し、生活困窮者の食料支援につなげた。

支援件数	20 件
提供個数	380 個

- （２）フードドライブの窓口を常設し、家庭等で余っている食料品を募集して、フードバンク事業に活用する。必要に応じ、行政と連携したフードドライブの取り組みを実施した。

受入れ先	件数	個数
企業	4 件	2,951 個
地域住民	26 件	979 個
合計	30 件	3,930 個

- （３）感染症自宅療養支援事業を実施し、社協独自の食料支援としてフードバンク事業を活用した。（再掲）
- （４）行路人等への交通費等の少額の資金支援を行う。

行路人等への支援件数 0 件

- （５）地域における広域の地域福祉推進事業として、各行政区が実施する事業に対し、行政区の募金実績額に応じて配分金を交付し、地域福祉活動の支援を行った。

行政区への募金配分

地区名	令和５年度募金実績額	令和６年度配分額
秋田	135,800 円	13,000 円
豊田	236,500 円	23,000 円
大屋敷	144,100 円	14,000 円
外坪	90,500 円	9,000 円
河北	171,000 円	17,000 円
余野	171,500 円	17,000 円
上小口	152,500 円	15,000 円

中小口	179,700 円	17,000 円
下小口	579,500 円	57,000 円
垣田	61,200 円	6,000 円
さつきヶ丘	102,500 円	10,000 円
合計	2,024,800 円	198,000 円

・配分額

前年度の赤い羽根共同募金実績額に 1 割を乗じ千円未満を切り捨てた額

- (6) 援助を必要とする生活困窮者等の緊急一時的な食料不足に対し、民間団体（フードバンクや災害用備蓄品活用団体）や企業との連携により、食料支援を行った。

* 上段は令和 6 年度・下段は令和 5 年度

食料支援件数
8 件
19 件

- (7) コロナ特例貸付利用者に対して、現況調査を行い希望される方への食料支援を行った。

* 上段は令和 6 年度・下段は令和 5 年度

食料支援件数
11 件
3 件

8. ふれあいサロン事業

- (1) サロン備品の初回購入及び故障・破損等による買替の助成を行った。

- (2) サロン開催実績回数に応じて助成を行った。

ふれあいサロン助成金交付実績

対象サロン数	申請サロン数	助成金額
19 か所	17 か所	402,000 円

- (3) サロン活動に必要な備品の貸出を行った。
(4) サロンの PR や広報等ちらしを作成し活動を支援した。
(5) 各サロンが一同に会し、情報交換できる「ふれあいサロン連絡会」を開催した。

ア. ふれあいサロン連絡会

開催日	場所	内 容	参加数
令和6年 4月15日	健康文化センター1階 多目的室	社協の支援する地域ふれあいサロン9か所の運営スタッフが参加。わいわい、がやがや、情報交換！タイムを実施。事前アンケートを元に、テーマを選出。①新しい方への開拓、サロンを継続していくための工夫は？②サロンでも災害時の準備や訓練はしていますか？について、各サロンで意見交換を行った。	23名

(6) 出前形式のサロンを開催し、定期的にサロン運営できるように支援した。

(7) 地域の特性や状況に合えあせてサロンの現状の把握に努めた。

令和6年度ふれあいサロン開催状況一覧

	種別	サロン名	開催日	場所	開催回数 参加数
1	地域	外坪区 ほっこり	第2・第4水曜日 9:00～11:30	外坪学共	23回 延913名
2	地域	大屋敷新田地区 いっぷく茶屋	第2土曜日 9:30～11:30	新田集会場	0回
3	地域	さつきヶ丘区 サロンさつき	第1・第3水曜日 9:30～11:30	さつきヶ丘 防災センター	24回 延638名
4	地域	さつきヶ丘区 元気会	第1金曜日 第3火曜日 13:00～15:30	さつきヶ丘 防災センター	24回 延366名
5	地域	大屋敷区 にこにこ	第1・第3水曜日 9:30～11:30	大屋敷学共	22回 延168名
6	地域	河北区 陽だまり	奇数月第2水曜日 9:30～11:30	河北区学共/二ツ屋 集会所	6回 延243名
7	地域	秋田替地地区 替地ふれあいサロン	第2日曜日ほか 9:00～12:00	替地集会場	14回 延140名
8	地域	豊田区 どんぐりころころ	毎週金曜日 13:30～15:00	豊田学共	48回 延365名
9	地域	上小口区 散歩道	偶数月15日 9:30～11:30	上小口学共	6回 延206名
10	障がい	フリースペース れんげそう	第4木曜日 13:30～15:00	健康文化センター 4階 和室	12回 延101名
11	障がい	忘れな草の会	水曜日月2～4回 9:00～16:00	健康文化センター 2階	40回 延117名
12	傾聴	傾聴サロン 笑桜会	第3火曜日 13:00～15:00	老人福祉センター 1階 研修室	0回

13	子育て	子育てサロン まむ🌸まむ	毎週火曜日 10:00～12:00	健康文化センター 2階おもちゃ図書館	48回 延 354 名
14	介護・認知症予防	オレンジカフェ・ 大口	第3木曜日 13:30～14:30	生きがい活動支援 センター	12回 延 206 名
15	介護予防	青空あかりサロン	第3水曜日 13:30～15:00	大口ケアセンター あかり 2階	12回 延 115 名
16	地域	さろんボッチャ	毎月水曜日（月3 回）13:30～15:00	余野学共	36回 延 729 名
17	地域	中小口区なかおぐち ふれあい喫茶	毎週木曜日 9:00～16:00	中小口地区コミュ ニティセンター	48回 延 1,087 名
18	地域	上小口萩島地区 ふれあいサロン会	第1火曜日 第4金曜日 13:00～14:30	萩島集会場	24回 延 314 名
19	店舗	無印良品ツナガル お茶会	第4木曜日 10:00～12:00	ルビットパーク 大口店内	24回 延 350 名
令和6年度サロン数合計			19 か所	開催回数合計 参加数合計	423回 延 6,412 名
令和5年度サロン数合計			18 か所	令和5年度開催回数合計 参加数合計	387回 延 5,811 名

9. 生活支援体制整備事業（一部、大口町委託事業）

- （1）大口町生活支援体制整備事業を受託し、北地域の第2層生活支援コーディネーターとして地域自治組織を中心とする協議体に参加し、地域づくりや生活支援サービスの創出に向けた協議や事業実施に向けた検討を行った。

* 生活支援コーディネーター業務の活動実績

本事業は、社協の地域福祉事業と共通点が多く、本事業の業務と社協事業の業務を整理・融合しながら実施した。

- ・北地域自治組織福祉部会、北地域開催事業、各種研修・会議・打合せ等

年間活動件数

担当日常生活圏域	件数
第2層協議体（北地域）	150件

- （2）地域住民の誰もが参加できるふれあいサロン活動の拡充に努めた。
- （3）住民参加型の生活支援「おたすけ隊サービス」について、人材育成研修や運営の体制整備等を行った。
- （4）地域における高齢者・障がい者世帯等の生活支援のニーズと、「おたすけ隊」の活動のマッチング・コーディネート等を行った。

①おたすけ隊サービス事業の概要

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者や障がい者等で福祉的な配慮のもと日常生活上の支援を要する者に対し、住民どうしの助け合いによる簡易な生活支援であるおたすけ隊サービスを提供するとともに、地域の見守りと助け合いを推進した。

ア. 協力会員の年間活動件数（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

年間活動件数
26件
55件

イ. おたすけ隊コーディネーターの年間活動件数

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

初回アセスメント	協力員会員の 同行支援	下見・モニタリング等訪問	その他
6件	22件	12件	1件
9件	23件	19件	2件

ウ. おたすけ隊サービス会員登録状況

（令和7年3月31日現在）

* 人数上段は令和6年度・下段は令和5年度

会員種別	人数	男女別	平均年齢
利用会員	57名	男性 12名	83歳 (65歳未満の 障がい者を除く)
	56名	女性 45名	
協力会員	18名	男性 7名	73歳
	20名	女性 11名	

エ. 生活支援ニーズとおたすけ隊サービスの活動のマッチング

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

生活支援ニーズ
・単身高齢者・高齢者世帯、障がい者世帯、老障世帯、ケアマネジャーや包括支援センターからの相談。 ・持病・障がい・腰痛等により、高い所・低い所の掃除、電球交換、まとめてごみ出し等ができないので、手伝って欲しい。 ・公的サービスの時間数が不足して困っているため、手伝って欲しい。 ・今はまだサービスは不要だが、ひとり暮らしで不安なため、何かあったときに備えて登録しておきたい。等

実施サービス
・ 居室、台所、窓ガラス等の簡単な掃除 ・ 買い物（食料品、日用品、水のケース購入） ・ リサイクルセンターへの資源・不燃ごみ出し ・ 電球交換、電灯取替 ・ エアコンのフィルターの掃除 ・ 家具移動 ・ じゅうたんの交換 ・ 害虫駆除剤の散布の補助 ・ 柿の収穫、枯葉掃除 ・ 除草した草を処理場へ運搬

（５）関係者間の情報共有、生活支援サービス提供主体間の連携の体制づくり等

①生活支援おたすけ隊サービスに関する連携、情報共有

ア．民生委員児童委員	2 件
イ．地域包括支援センター、行政	4 件
ウ．ケアマネジャー	2 件
エ．その他	1 件

高齢者世帯等の事例について、情報共有し必要なサービス等につないだ。

（６）生活支援サービス提供主体等が参画する定期的な情報共有・連携強化の場との連携・協働に関する業務

ア．第２層協議体生活支援コーディネーターとして出席した会議等

会議・行事等名称	出席件数
三地域代表者会	6 件
北地域自治組織 総会・理事会	1 3 件
北地域自治組織 福祉部会（打合せ等も含む）	1 3 件
北地域避難・防災訓練・北地域内福祉施設見学	2 件

会議・行事等名称	出席件数
大口町生活支援コーディネーター意見交換会	1 件
ケアマネ連絡会、自立支援型包括ケア会議	1 件
高齢者等情報交換会	1 2 件
健康推進員研修及び代表健康推進員連絡会（打合せ含む）	5 件
北地域自治組織 福祉の集い「家族が急に介護が必要に！！」	1 件
第 17 回大口町まちづくり協働フォーラム	1 件

イ. その他、生活支援体制整備事業に関連する研修会等への出席

会議・行事等名称	出席件数
令和6年度生活支援コーディネーターフォローアップ研修	2件
令和6年度3市2町社会福祉協議会 第1回職員研修会	1件

- (7) 重層的支援体制整備事業の取組に向け、町と連携・調整を図りながら検討した。

10. 福祉関連団体支援事業

- (1) 町内福祉団体や広域福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図った。

福祉関係団体助成金交付実績

団 体 名	金 額
身体障害者福祉協会	450,000 円
心身障害児（者）親の会	110,000 円
更生保護女性会	10,000 円
遺 族 会	380,000 円
保護司会	10,000 円
大口しらゆり会	40,000 円
尾北地区聴覚障害者福祉協会	10,000 円

- (2) 身体障害者福祉協会、遺族会の事務局として、定例会及び研修会等の開催を支援した。

11. 顕彰表彰事業

- (1) 大口町と大口町表彰式を共催し、福祉功労や家庭介護等の表彰を行った。

大口町表彰式

司 会 音訳ボランティアたんぽぽ
情報支援 大口町手話サークル

開催日	場所	内容	来場者
11月23日	健康文化センター ほほえみホール	社会福祉協議会の顕彰者 社会福祉協議会会長表彰 2名	100名

(2) 愛知県社会福祉大会等の顕彰・表彰について、該当者の調査・推薦等を行った。

愛知県社会福祉大会

開催日	場所	顕彰者	参加数
1月23日	愛知県体育館	大口町社会福祉協議会推薦分 愛知県社会福祉協議会会長感謝1名	約200名 (会全体)

Ⅲ. 「伴走型の個別支援」の充実

本会の総合福祉相談事業は、さまざまな生活課題や日常生活の困りごとを抱えるすべての世帯を対象として、専門職が幅広く相談を受け、必要に応じ食料支援や資金貸付、福祉サービス利用援助、金銭管理、介護サービス、就労支援等、多様な課題解決策を用いて支援します。

また、世帯の当事者が人とつながり、地域社会に参加しながら生活することができるよう何年もかけて伴走し寄り添いながら、継続的に関わり、制度外の福祉ニーズにも対応した柔軟な支援を行います。こうした専門職による「伴走型の個別支援」は、本会の相談事業の大きな特色であり、長年の実践を活かして一層の充実を図りました。

1. 心配ごと相談所

(1) 母子父子自立支援相談

愛知県母子・父子自立支援員が、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談に対応し、母子父子寡婦福祉資金等貸付制度の紹介等を行った。

(2) 女性相談

愛知県女性相談員が、配偶者からの暴力、離婚問題、家庭不和、近隣等との人間関係の悩みなど女性の抱える様々な問題について相談を行った。

(3) 高齢者・障がい者のための弁護士相談

弁護士が、高齢者・障がい者の法律に関する相談に応じた。

ア. 相談状況＊上段は令和6年度実績・下段は令和5年度実績

件数
28件
31件

イ. その他、窓口社協職員による相談状況 0件

ウ. 相談内容（延べ相談件数）＊上段は令和6年度・下段は令和5年度

相談内容															合計
生計・年金	職業・生業	住宅	家族	結婚・離婚	健康・医療	精神	人権・法律	財産	児童福祉	教育・青少年	心身障がい	ひとり親家庭	高齢者福祉	苦情・その他	
4	5	1	13	14	1	3	4	1	0	0	2	3	0	3	52
3	8	2	12	9	0	0	3	7	1	1	0	11	2	5	64

2. 総合福祉相談事業

- (1) 相談窓口を常設し、地域住民の多様な生活課題等に関して、専門職が幅広く相談に応じた。
- (2) 必要に応じ相談者と契約し、支援計画を作成して、世帯の生活課題やニーズを明らかにしながら個別支援を行った。

ア. 契約者以外の相談状況

＊上段は令和6年度・下段は令和5年度

内容	件数
問合せ・相談のみ	3 件
	1 件

イ. 総合福祉相談事業契約者のサービス利用状況

総合福祉相談事業契約者数 8 名

福祉サービス利用援助、金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件数

＊上段は令和6年度・下段は令和5年度

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症高齢者等	3 名	56 件
	2 名	95 件
知的障がい者	3 名	455 件
	4 名	327 件
その他	2 名	60 件
	0 名	0 件

合計	8 名	571 件
	6 名	422 件

- (3) 必要に応じ、緊急的な支援（再掲）
- ・食料支援
 - ・資金貸付（町くらし資金）
- (4) 福祉サービス利用援助
- ・さまざまな福祉サービスの利用に関する相談・情報提供
 - ・福祉サービスの利用料の支払い手続き
 - ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続き
 - ・必要に応じ、行政、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、就労事業所等の関係機関との連絡調整を行い、生活困窮者自立支援や生活保護、成年後見制度、就労支援・訪問介護・配食サービス等の福祉サービスの利用の援助
- (5) 日常的な金銭管理サービス
- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
 - ・医療機関への医療費の支払いの手続き
 - ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払い手続き
 - ・生活費に必要な預貯金の出し入れ、または預金の解約の手続き
- (6) 日常生活に必要な事務手続き援助
- ・居住家屋の賃借に関する相談・情報提供、行政手続き等
- (7) 書類や通帳等の預かりサービス
- ・年金証書、預貯金通帳、証書、実印、銀行印等
- (8) 相談者の社会参加、地域の見守りや社会資源の活用につなぐ支援を行った。

3. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業／愛知県社協委託事業）

- (1) 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方やその家族、関係者からの相談に専門員が応じた。
- (2) 利用希望者の訪問調査を行い、契約締結審査会へ審査を依頼した。

ア. 契約者以外の相談状況 問合せ・相談のみ（初回相談受付含む）

※ 上段は令和6年度・下段は令和5年度

対象者	件数
認知症高齢者等	1 件
	10 件
知的障がい者	2 件
	3 件

精神障がい者	0 件
	0 件
不明・その他	1 件
	1 件
合計	4 件
	14 件

イ. 福祉サービス利用援助事業契約者のサービス利用状況

福祉サービス利用援助契約者数 8 名

福祉サービス利用援助、金銭管理、書類等預かりを含む相談援助の延べ支援件数

※ 上段は令和 6 年度・下段は令和 5 年度

対象者	契約者数	延べ支援件数
認知症高齢者等	1 名	348 件
	1 名	356 件
知的障がい者	5 件	922 件
	6 名	1,326 件
精神障がい者	2 件	504 件
	2 名	451 件
合計	8 名	1,774 件
	9 名	2,133 件

(3) 契約締結審査会で承認された利用者と契約し、支援計画を作成した。

(4) 生活支援員を雇用し、支援計画のもと利用者への個別支援を行った。

生活支援員の活動状況

生活支援員 1 名

「イ. 福祉サービス利用援助事業契約者のサービス利用状況」のうち、生活支援員による延べ支援件数

29 件

(5) 福祉サービス利用援助

- ・福祉サービスの利用に関する相談・情報提供
- ・福祉サービスの利用料の支払い手続き
- ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続き

(6) 日常的な金銭管理サービス

- ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- ・医療機関への医療費の支払いの手続き
- ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道等の公共料金の支払い手続き

- ・生活費に必要な預貯金の出し入れ、または預金の解約の手続き

(7) 日常生活に必要な事務手続き援助

- ・居住家屋の賃借に関する相談・情報提供、行政手続き等

(8) 書類や通帳等の預かりサービス

- ・年金証書、預金通帳、証書、実印、銀行印等

4. 貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業（愛知県社協委託事業）

低所得世帯や高齢者・障がい者世帯、関係者等からの貸付相談に応じた。

ア. 相談件数 17 件

項目	福祉資金		総合支援資金	教育支援資金	不動産担保型生活資金
	福祉費	緊急小口資金			
件数	4 件	11 件	0 件	2 件	0 件

借入申込世帯の聞き取り調査を行い、必要に応じ民生委員と連携し、生活福祉資金調査委員会による審査を行った。

生活福祉資金調査委員会による審査後、愛知県社会福祉協議会へ申請した。

貸付後、民生委員と連携し、借受人世帯の償還指導を行った。

定期的に、愛知県社会福祉協議会へ償還指導状況を報告した。

* 資金種類

- ・福祉資金（福祉費、緊急小口資金）
- ・教育支援資金（教育支援費、就学支度費）
- ・総合支援資金
- ・不動産担保型生活資金
- ・新型コロナ特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）

イ. 生活福祉資金貸付状況

（単位：円）

資金種類		件数	貸付金額 (元金) (1)	貸付利子 延滞利子 (2)	累計償還額 (3)	* 未償還額 (滞納額を含む) (4)
福祉費	緊急小口資金	56 件	8,800,000	171,737	1,380,815	7,590,922
総合支援資金		31 件	15,918,000	583,795	396,371	16,105,424
教育支援資金	教育支援費	2 件	915,000	115,336	835,000	195,336
計		89 件	25,633,000	8,70,868	2,612,186	23,891,682

* 未償還額 (4)=(1)+(2)-(3)

(2) 県くらし資金貸付事業（愛知県社協委託事業）

＊原資 200,000 円（愛知県社協）

借受人世帯の償還指導を行い、定期的に、愛知県社会福祉協議会へ償還指導状況を報告した。

貸付状況 ＊上段は令和 6 年度・下段は令和 5 年度 （単位：円）

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	＊未償還額(3)
7 件	213,000	20,000	193,000
7 件	213,000	20,000	193,000

＊未償還額 (3)=(1)-(2)

(3) 町くらし資金貸付事業（大口町社協独自事業）

＊原資 1,500,000 円（大口町社協） 上限 50,000 円

生活福祉資金が非該当または緊急を要する貸付の場合、低所得世帯や高齢者・障がい者世帯、関係者等からの貸付相談に応じた。

借入申込世帯の聞き取り調査を行い、審査を行った。

貸付後、借受人世帯の償還指導を行った。

貸付状況 ＊上段は令和 6 年度・下段は令和 5 年度 （単位：円）

件数	累計貸付金額(1)	累計償還額(2)	＊未償還額(3)
7 件	149,000	42,000	107,000
28 件	715,500	120,500	595,000

＊未償還額 (3)=(1)-(2)

IV. 平常時における災害への備え

近年、地震だけでなく身近な台風、豪雨等による災害が相次いでおり、各地の市町村社協が災害ボランティアセンターを開設し、災害時のボランティア活動をコーディネートしています。

大口町と「大口町災害ボランティアセンターの開催及び運営に関する協定」の中社協が災害ボランティアセンターを担う組織として位置づけられ、ボランティアや行政と連携して災害ボランティアセンター設置運営訓練や各種訓練による人材育成に努めました。

1. 地域福祉活動事業（防災・災害関連事業）（一部、大口町委託事業）

（1）大口町防災啓発事業を受託した。

防災・災害に関する研修等を開催し、地域の防災意識の高揚と、防災力の向上を図った。

また、養成講座と兼ねて災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。

人材育成事業・防災訓練事業

災害ボランティアセンター設置運営訓練（防災訓練事業）を兼ねた人材育成研修を実施し、災害ボランティアコーディネーターのスキル維持を図り、大規模災害時にボランティアの受入・派遣拠点となる災害ボランティアセンターの運営を担う人材の育成に努めた。

令和6年度より、児童向けの防災教室を実施し、災害や防災について知識の啓発に努めた。

ア. 災害ボランティアコーディネーター養成講座

実施日	場所	内容	参加数
2月1日	健康文化センター 1階多目的室・	大口町防災対策本部、災害ボランティア、kintoneに関する講義と、災害ボランティアセンター立上げ訓練についての説明を行い、運営方法について参加者・災害ボランティア団体と共有することができた。	28名

イ. キッズぼうさいアカデミー

実施日	場所	内容	参加数
2月22日	健康文化センター1階多目的室	地震や水と避難場所についての講義とクイズ、ブース体験や非常食試食から地震や防災についての啓発活動を実施できた。	34名

(2) 地域の防災訓練において、各種訓練や講座等を実施した。

防災訓練事業

ア. 北地域避難・防災訓練

実施日	場所	内容	参加数
10月19日	大口町立北小学校体育館	北地域避難防災訓練にて、携帯トイレの使用方法についてのブースを出展。参加者に対して、携帯トイレの使用方法についての説明と体験を行った。	340名

イ. 秋田区自主防災会防災訓練

実施日	場所	内容	参加数
11月24日	秋田区自主防災会防災訓練	秋田区自主防災会防災訓練にて、参加者に対して、携帯トイレの使用方法についての説明と体験を行った。	40名

(3) ボランティア団体等とともに、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。

実施日	場所	内容	参加数
2月1日	健康文化センター北駐車場	災害ボランティアセンター立上げの流れ、運営方法について実際に運営しながら、参加者・災害ボランティア団体と共有することができた。kintone システムについては今年度も一部導入を行った。	28名

(4) 広報「社協だより」や展示等を通じて防災・災害に関する情報を発信し、防災意識を啓発した。

ア. 社協だより

・「おおぐち社協だより」を発行し、防災・災害に関する情報を発信した。

イ. 防災パネル展

実施期間	場所	内容
3月4日～3月17日	健康文化センター 1階ロビー	「防災啓発パネル展」

- (5) 「あいち災害ボランティアセンター運営システム（キントーン）」を使用する災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。

2. 災害時相互応援協定継続事業

- (1) 岩手県遠野市社協との相互応援協定締結を活かした継続事業として、復興支援活動や災害ボランティアセンターの運営等に当たる計画については、Zoomを使用した交流会及び情報交換会を実施した。

実施日	場所	内容	参加数
3月25日	社協事務局 (Zoomにて)	両社協の災害ボランティアセンター立上げ訓練活動内容の確認と、キントーンシステムについての情報共有を行った。	9名

- (2) 西尾張ブロック社会福祉協議会と情報交換を行い、情報共有した。

3. 災害用備品整備事業（一部、大口町委託事業）

- (1) 災害ボランティアセンターや災害ボランティアに必要な消耗品を購入した。

V. 安心・安全な介護サービスの提供

在宅福祉部門の各介護事業所では、利用者の健康と命の安全を守り、暮らしを支える介護専門職として、サービス提供をしました。また、制度の狭間で困難な生活課題を抱える人も含め、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上に努め、地域への介護情報の発信等により、介護予防普及啓発事業を推進しました。

1. 大口社協居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）

- （１）介護保険法に基づき、介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用者を対象として、ケアプランを作成した。
- （２）利用者がその心身の状況等に応じ適切なサービスを利用できるよう、行政やサービス事業者等との連絡調整、モニタリング等を行った。
- （３）介護支援専門員の連絡会等に参加し、情報共有や専門職の連携を図った。
- （４）身体拘束廃止、虐待防止の研修を行い職員のスキル向上を図った。
- （５）疾病の予防・感染症対策のための多職種と協働し予防のための疾病の予防・感染症対策・研修を行い職員の専門性を高めた。

大口社協居宅介護支援事業所 利用実績

（介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合）

* 上段は令和 6 年度・下段は令和 5 年度

*利用者数（延べ人数）は、1 年間の延べ利用者数

*利用者数（実人数）は、3 月末現在の利用者数

区 分	日常生活支援 総合	要支援 1～2	要介護 1～2	要介護 3～5	合 計
利用者数 (延べ人数)	23 名	105 名	511 名	252 名	891 名
	26 名	116 名	702 名	236 名	1,080 名
利用者数 (実人数)	6 名	14 名	68 名	33 名	121 名
	3 名	14 名	76 名	29 名	122 名
収 入	541,678 円		9,456,307 円	9,997,985 円	
	582,659 円		11,231,482 円	11,814,141 円	
増 減	▲40,981 円		▲1,775,175 円	▲1,816,156 円	

2. 大口社協訪問介護事業所（ホームヘルパー）

- (1) 介護保険法に基づき、介護、介護予防、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用者を対象として、訪問介護サービス（生活援助、身体介護、通院介助）を提供した。
- (2) 障害者総合支援法上のサービス利用者に対し、障害福祉サービス（居宅介護、行動援護、重度訪問介護）を提供した。
- (3) 大口町地域生活支援事業の委託を受け、移動支援サービスを提供した。
- (4) 必要に応じ、制度の狭間を補う独自事業の訪問介護サービスを提供した。
- (5) 事業所連絡会等に出席し、情報共有や専門職の連携を図った。
- (6) 身体拘束廃止、虐待防止の徹底と研修を行い職員のスキル向上を図った。
- (7) 疾病の予防・感染症対策のための多職種と協働し予防のための疾病の予防・感染症対策・研修を行い職員の専門性を高めた。

大口社協訪問介護事業所 利用実績

（介護、介護予防・日常生活支援総合、障害者総合支援、独自）

* 上段は令和6年度・下段は令和5年度

*利用者数（延べ人数）は、1年間の延べ利用者数

*利用者数（実人数）は、3月末現在の利用者数

区 分	居宅介護等		障害者総合支援	合 計
	日常生活支援総合 (現行の訪問介護相当)	要介護 1～5		
利用者数 (延べ人数)	1,003 名	2,019 名	2,549 名	5,571 名
	1,198 名	1,927 名	2,460 名	5,585 名
利用者数 (実人数)	17 名	14 名	31 名	62 名
	16 名	15 名	30 名	61 名
収 入	10,166,543 円		12,239,961 円	22,406,504 円
	10,480,403 円		13,471,146 円	23,951,549 円
増 減	▲313,860 円		▲1,231,185 円	▲1,545,045 円

3. 大口社協デイサービスセンター

- (1) 介護保険法に基づき、介護、介護予防のサービス利用者を対象として、通所介護サービスを提供した。
- (2) 介護保険法に基づき、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用者（事業対象者）を対象として、介護予防通所型サービスミニデイ事業（通所型サービスA）を実施した。
- (3) 必要に応じ、制度の間を補う独自事業の通所介護サービスを提供した。
- (4) 事業所連絡会等に参加し、情報共有や専門職の連携を図った。
- (5) 身体拘束廃止、虐待防止の徹底と研修を行い職員のスキル向上を図った。
- (6) 疾病の予防・感染症対策のための多職種と協働し予防のための疾病の予防・感染症対策・研修を行い職員の専門性を高めた。

大口社協デイサービスセンター 利用実績

（介護、介護予防・日常生活支援総合、独自）

＊ 上段は令和6年度・下段は令和5年度

＊利用者数（延べ人数）は、1年間の延べ利用者数

＊利用者数（実人数）は、3月末現在の利用者数

区 分	通所介護 要介護1～5	介護予防通所型 サービス 要支援1～2 事業対象者	介護予防通所型 サービスミニデイ 事業対象者 (通所型サービスA)	合 計
利用者数 (延べ人数)	2,112 名	371 名	845 名	3,328 名
	3,296 名	328 名	712 名	4,336 名
利用者数 (実人数)	16 名	9 名	14 名	39 名
	20 名	6 名	16 名	42 名
収 入	18,097,052 円	5,223,573 円		23,320,625 円
	27,074,937 円	4,052,546 円		31,127,483 円
増 減	▲8,977,885 円	1,171,027 円		▲7,806,858 円

4. 介護予防普及啓発事業

- (1) 介護予防普及啓発事業として、地域住民を対象として健康体操等の出前を行った。
- (2) 「社協だより」に介護事業所職員による「介護豆知識」の記事を掲載し、介護情報を発信した。
- (3) 大口町ふれあいまつりにおいて、事業所のPRと介護の普及啓発を行った。
- (4) 米寿お祝い訪問時において、介護予防の啓発をかねて福祉情報を発信した。

5. 介護事業所の経営向上と介護人材の育成

- (1) 事業所会議を開催し、職員配置や勤務体制の変更、連絡網の活用等の対策を取りながらサービス提供を継続し、経営の維持・強化に努めた。
- (2) オンラインによる内外の研修会や勉強会を活用し、安心・安全な介護のためのスキルアップやサービスの質の向上に努めた。